

1 評価者 学校関係者（学校評議員6名）

2 方法 第2回学校評議員会[2/9（金）]で「学校自己評価」を配布し、学校概要を説明した。「評価報告書」（A：十分満たしている B：満たしている C：満たしていない の3段階評価、感想・助言欄あり）配布し、後日その回答を郵送で受領した。

3 評価結果

	1	2	3	4	5	6	総合
学習指導	B	B	A	A	A	B	A
進路指導	B	B	A	A	A	A	A
生活指導	A	A	A	A	A	A	A
特別活動	A	B	A	A	A	A	A
開かれた学校	A	A	A	A	A	A	A
職員研修	B	A	B	B	A	C	B

4 主な助言

(1) 学習指導

- ・小中高の連携の下、佐久地域の児童・生徒の学力アップを図ることが大切ではないか。
- ・授業を参観し、教科の枠を超えた授業をしており感心した。

(2) 進路指導

- ・推薦合格者の朗報に対し、先生方のご指導、生徒の頑張りに頭が下がります。「合格がゴールではなく、卒業後どうするかを考えることが大事である。」ことを指導して頂きたい。
- ・推薦入試が拡大している中、共通テスト、一般入試を受ける生徒の対応に先生方のご苦勞が伺われる。
- ・色々な大学があるので、自分の目標に近い所を指導して欲しい。

(3) 生徒指導

- ・SNSにかかわる生徒指導事案は、小学校まで広がっている。身の安全、心の安全、より温かみのある仲間関係作りに向けて、学校からも指導をお願いしたい。

(4) 特別活動

- ・100周年記念事業に関わって、生徒会の活動、イベントに大きな期待をしている。
- ・探究学習の成果が有効な学びに結びついている。その探究の成果が、進路につながるといいと思います。
- ・各種活動に活発に取り組んでいる。
- ・班活で自分の目標が発見される事も多く、高校生活でほぼ決まることが多いと考える。

(5) 開かれた学校

- ・学校のHPを活用して、外部に情報を積極的に発信している。
- ・中学3年生に対してのPR、又入学後の親の授業参観は大変必要なことで成果がある。

(6) 職員研修

- ・同好会（研究会）に入るなど、他校の先生方との交流を通して、専門性をより一層高めていってほしい。
- ・内容が少しわかりづかった。大学と協働して研修を行うようなことを摸索していくことも良いように思いました。
- ・先生方は、校外でも、新たな教育指導のため、研鑽されている。
- ・先生自身がもっと学校の外へ出てほしい。社会を知り指導が成り立つ。